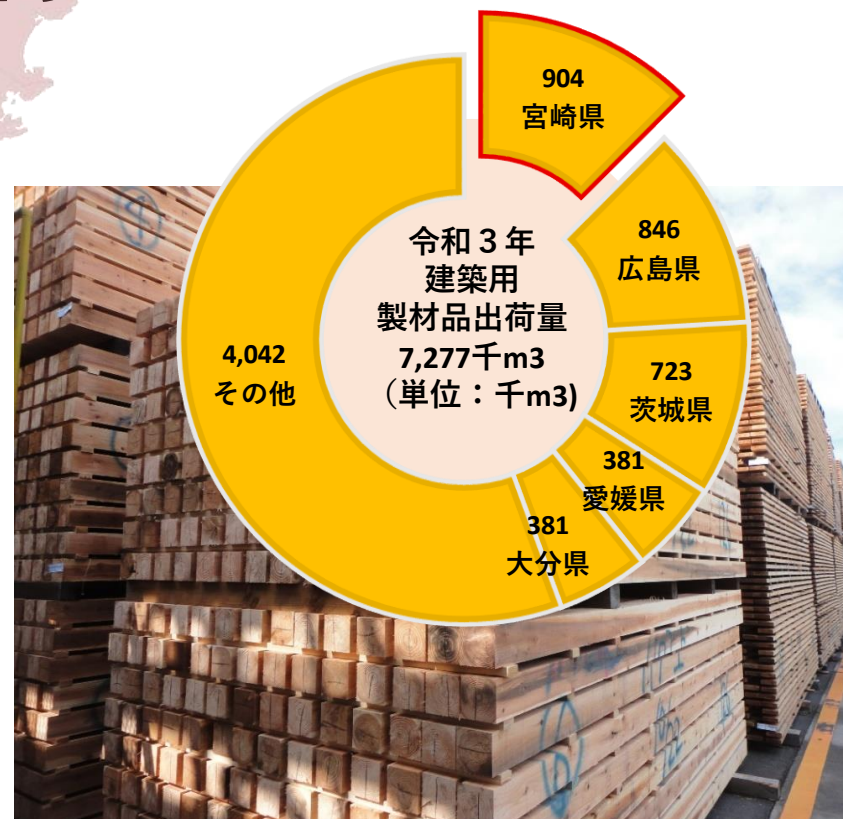
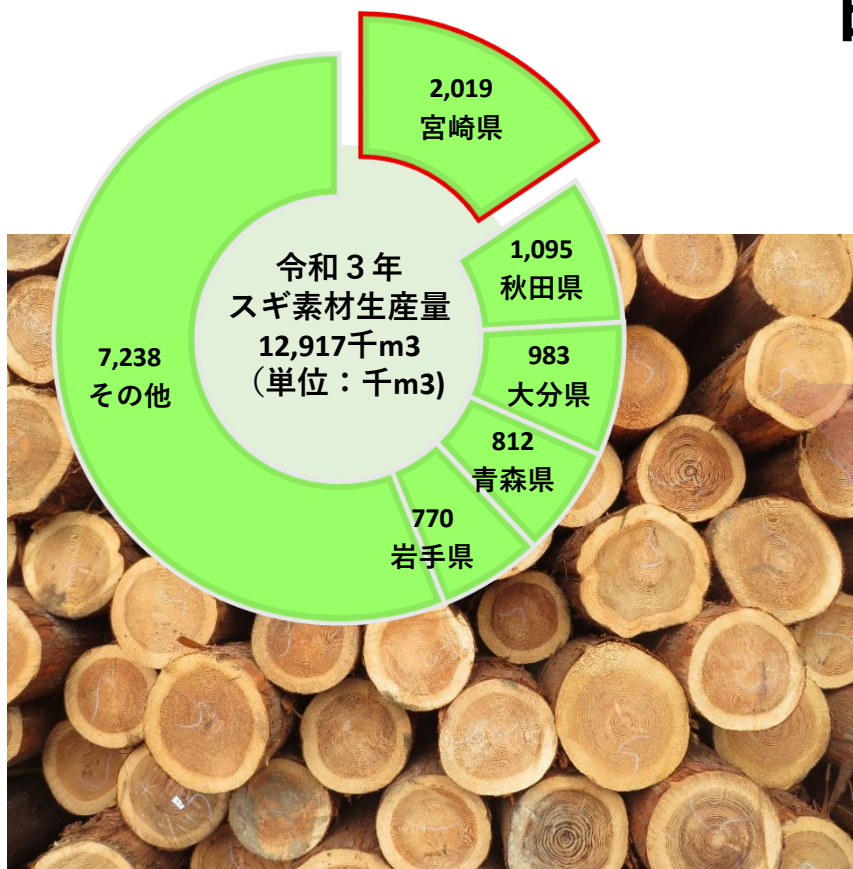


1 本県の概要

宮崎県はスギ素材（丸太）生産量・建築用製材品出荷量 日本一の林業県です



2 現状と課題

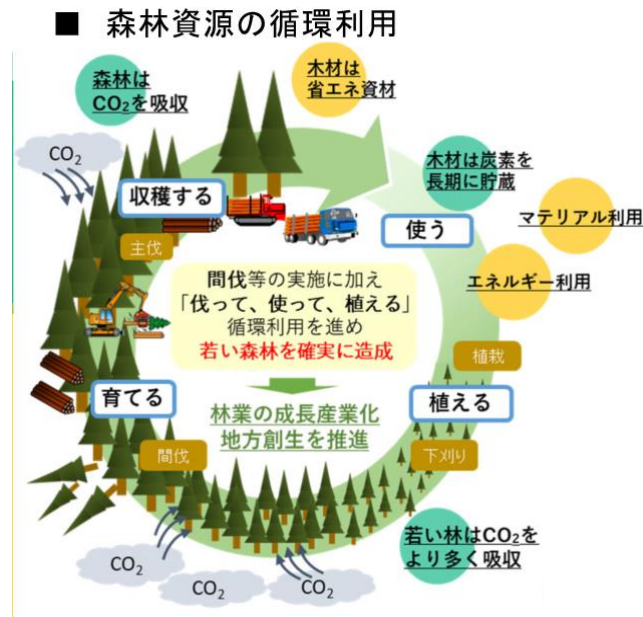
林業の持続的な発展と森林資源を次の世代へ引き継ぐためには、
「伐って、使って、すぐ植える」 資源循環型林業の確立が大変重要です。
 また、森林は成長する過程で**二酸化炭素を吸収・固定**しています。



木材利用によるCO₂の固定



適切に手入れされた森林



伐採後の速やかな再造林



植栽後の下草刈り

しかし、森林所有者の費用負担や作業者の不足などから、宮崎県では、伐採後に**再び植えられる山林 (=再造林) は7割ほど**です。
 このため、**再造林の推進が喫緊の課題**となっています。

3 事業の目的（水を貯え、災害に強い森林づくり事業）

公益上重要な森林において、伐採した後も放置せず、再びスギや広葉樹を造林し、水を貯えて、災害から守る健全で豊かな森林づくりを進める。

4 事業内容

- ① 伐採後、すぐにスギなどを植栽するための支援
補助率：国庫補助 68% + 当該補助 7% = 75%
- ② 伐採して放置された水源地などに広葉樹を植栽するための支援
補助率：国庫補助 68% + 当該補助 32% = 100%

※宮崎県のスギ苗木の95%は、花粉の少ない花粉症対策苗木です。



速やかな再造林



広葉樹の植栽

5 得られる成果

- ◎ **森林吸収源の安定確保** ➢ 森林の若返りによる二酸化炭素吸収機能の向上
- ◎ **災害に強い健全な森林** ➢ 土砂流出防止などの災害防止機能の発揮



6 寄付することのメリット

例えば、500万円の寄附金は、約75haの再造林の支援に繋がります。

$5,000,000 \text{ 円} \div 66,622 \text{ 円/ha} = 75.1 \text{ ha}$

※ 66,622 円は、当事業で支援するha当たりの補助金額（7%嵩上げ補助）

この場合、植栽してから1年間の二酸化炭素吸収量は、924.8 (t-CO₂/年) と推測されます。
なんと、**約340世帯分の年間CO₂排出量に相当します。**



メリット① 寄附によって得られる二酸化炭素吸収量の証明書を発行します。

メリット② みやざきでの視察、研修、ワーケーションなどのお手伝いをします。

若い森林はCO₂をより多く吸収

山村地域での意見交換・研修



林業関係者等との意見交換

森林や林業に関する視察・研修



企業の森づくり



林業現場の視察

森林空間や山村地域での活動体験



森林ウォーク



森林浴



5つ星キャンプ場